

財政的な施策と見通しについて

引き続き行財政改革を推進する
佐藤 寿宏 (たちかわ自民党)



問 今後の財政運営は大変難しい時期にあるといえます。市では目白押しの開発、改修建設計画があり、国と都の補助金があっても、多大な財源が必要となることは必至であります。現在ある基金では足りなくなり、財政的には、どのような施策と見通しを持ち、多額の財源確保を図るのか伺います。また、市の借入金も極力少なくするため、日頃より行財政改革を推進し、財源の確保を心がけていただきたい。

答 市としても市財政は厳しい状況が続くものと認識しています。市では、第3次基本計画に掲げる事業を着実に進めていきますが、引き続き行財政改革を推進するなど、持続可能な経営基盤の確立を目指します。大規模施設整備関連事業等の財源としては、国・都の補助金や基金、地方債の活用を予定しており、今後は地方債残高等の増加が見込まれますが、プライマリーバランスの均衡に配慮しながら、健全な財政運営に努めます。

「議会改革」に対する市長の見解を

分権型社会実現に有効な手法
清水 孝治 (たちかわ自民党)



問 分権時代において議会改革を進めていくには、二元代表制の機能強化に加え「住民とともに考える行動する」アクティブ機能が重要だと考えられています。市の見解を伺います。また、議会への住民参加を進める上で、住民との交流が前提となる議会活動に必要な経費を早急に整備しなければ、二元代表制における住民参加が執行部だけに偏ってしまうと危惧されます。市側の具体的な協力体制とあわせて見解を伺います。

答 分権型社会の実現が叫ばれる中、二元代表制の一翼を担う議会の役割には一層の期待が寄せられており、議会改革はその活性化につながる有効な手法であると考えています。殊に協働を推進する本市としては、アクティブ型議会には注目すべきと考えています。市側の協力については、議会改革の議論の窓口として副市長を充てるつもりです。住民参加を進めるための経費については、必要ならば適正に予算措置していきます。

食品の放射性物質検査機器の導入を

国との連携のなかで模索する
五十嵐 けん (市民の党)



問 市は学校給食用材料調達事務染食材は使わない等の改正をしましたが、さらに市独自の厳しい基準を設けるべきです。また、食べる前に食材の検査を行うには、放射性物質検査機器が必要です。安価で高性能なものも出ており、緊急雇用対応の補助金等を使えば費用対効果からみても非常に効果があると考えます。保護者からの声もあり、子どもたちの安全のために早急に導入すべきと考えますが、見解を。

答 要綱改正により、疑われるものは使用しないという方針ですが、食品の放射性物質の規制値については国が定めているので、市独自の基準を設ける考えはありません。食材の検査については、口に入る前に検査するのが基本と考えています。食品は生産があり流通があつて口に入ります。出荷段階でどのような制限をかけるかは国が行っているもので、その連携の中で食品のあり方を模索することが正しいと考えています。

全庁的に連携した子育て支援を

新しい課の設置を検討
稲橋 ゆみ子 (立川・生活者ネットワーク)



問 発達障がいや不登校、いじめや経済的格差など、子どもたちを取り巻く環境が変化する中、子ども自身の育ちへの支援が必要となっています。旧庁舎については、総合的な子育て支援の一元化した拠点になることですが、子どもの最善の利益を保障していくためには、庁内の連携が不可欠です。今まで教育委員会と子ども家庭部との連携には隙間がありましたが、今後、どのように連携を行っていくのか、具体的な役割を伺います。

答 来年度以降、特に特別支援教育に特化した新しい課を作る予定で検討しています。今後その新しい課が中心となって、関係する課とさまざまな連携を取り、保護者の方、子どもたちを全面的に支援していきたいと考えています。旧庁舎の中には子ども家庭支援センターも入るので、子ども家庭部と新しい特別支援教育課、福祉保健部の健康推進課が全面的に連携をとっていくような仕組みを現在作っているところです。

これまで「議会改革プロジェクトチーム」により、議会改革の検討を進めてきましたが、本定例会において「議会改革について」を特定事件とする「議会改革特別委員会」が設置されました。今後は特別委員会により、議会改革をさらに進めます。なお、議会改革プロジェクトチームの会議概要は議会ホームページ上でご覧になれます。

「議会改革特別委員会」を設置

- | | | | |
|------|-------|----|-------|
| 委員長 | 堀 憲一 | 委員 | 伊藤 大輔 |
| 副委員長 | 清水 孝治 | 委員 | 高口 靖彦 |
| 委員 | 稲橋ゆみ子 | 委員 | 古屋 直彦 |
| 委員 | 小川あきこ | 委員 | 浅川 修一 |

お詫びと訂正

前回発行の「たちかわ市議会だより第281号」において次のとおり誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

5面「平成22年度一般会計歳入・歳出決算状況」の数値
国庫支出金
(誤) 11,908,671千円 17.2% (正) 11,955,794千円 17.3%
都支出金
(誤) 7,398,368千円 10.7% (正) 7,351,245千円 10.6%
なお、歳入総額に変更はありません。

6面「木原議員」の一般質問記事 「問」2行目
(誤) 侵入 (正) 進入

声の議会報を聞きますか?



市議会では、視覚障害者のためにCD(デジジー規格)及びカセットテープ版「声の議会報」を作成し、希望者に郵送しています。ご希望の方、また周りに希望する方がいらっしゃいましたら、議会事務局までご連絡ください。



子育て支援の拠点に(旧庁舎)

放射能被害を受けた子どもの支援を

要請があれば検討したい
大沢 豊 (みどり立川)



問 いわき市を訪れた際に、避難できない子どもを一時的にでも放射能濃度の低い地域で生活させたという保護者の方の声がありました。健康被害を受けた子は、たとえ短期間でも避難し、安全な食べ物を食べ、野外で遊ぶことにより元気になると聞きます。市と市民、事業者の方たち等と連携し、放射能濃度の高い地域に住む子どもたちを一定期間生活させ、元気になるまで帰ってもらうといった取り組みができないかと考えますが、見解を。

答 放射能被害による子どもたちの支援については、いわき市とはいわき平競争輪を通じて交流があり、東日本大震災の際に救援物資を送ったという経緯があります。子どもたちの一時避難につきましては、現段階ではいわき市からの要請は来ておりませんが、要請があれば検討する余地があると考えます。支援の要請や民間団体との支援体制が整った段階で、改めて具体的な方法について検討する必要があると考えています。

会議の経過

- | | |
|-----------------------------------|---|
| ☆第1回臨時会
11月29日
会期1日間
本会議 | ☆第4回定例会
12月2日～8日
会期19日間
本会議
総務委員会
厚生産業委員会
環境建設委員会
文教委員会
立川まちづくり
特別委員会
議会運営委員会
議会運営委員会
本会議 |
|-----------------------------------|---|

総務委員会

〔議案等の審査〕

- ◆「災害時の緊急食糧として家畜を活用する仕組みの構築に関する陳情」を継続審査とする
- ◆「第32回オリンピック競技大会及び第16回パラリンピック競技大会の東京招致に関する陳情」を採択すべきものと決定

〔主な報告事項〕

- ◆国体の準備状況について
国体啓発用の「ゆりーと」ポロシャツとワイシャツの販売枚数は合計435枚。購入価格の10%、8万9,400円を東日本大震災で被災されて本市に避難してきた方々への義援金とした。
- ◆立川市業務継続計画＜地震編＞について
議会、市民からの意見を反映して確定。災害が発生しても住民の生活等に大きな支障が生じないよう、優先すべき業務の遂行と継続を図りたい。

厚生産業委員会

〔議案等の審査〕

- ◆「立川市斎場指定管理者の指定について」を可決すべきものと決定
- ◆「立川市幸児童館指定管理者の指定について」「立川市高松児童館指定管理者の指定について」を可決すべきものと決定
- ◆「立川市総合福祉センター条例の一部を改正する条例」を可決すべきものと決定
- ◆「立川市児童館条例の一部を改正する条例」を可決すべきものと決定
- ◆「立川市柏地域福祉サービスセンター指定管理者の指定について」「立川市羽衣地域福祉サービスセンター指定管理者の指定について」「立川市上砂地域福祉サービスセンター指定管理者の指定について」を可決すべきものと決定
- ◆「立川市総合福祉センター指定管理者の指定について」を可決すべきものと決定
- ◆「公的施設への市民交流喫茶室設置および増設に関する請願」を継続審査とする
- ◆「障害者総合福祉法の制定を求める意見書提出に関する請願書」を採択すべきものと決定
- ◆「都民のための食肉処理場を整備するまで八王子食肉処理場を存続させることに関する陳情」を継続審査とする
- ◆「障害者自立支援施設建設反対に関する陳情」を不採択すべきものと決定
- ◆「『こころの健康を守り推進する基本法』の法制化を求める意見書採択に関する陳情」を採択すべきものと決定

〔主な報告事項〕

- ◆アニメを活用した観光プロモーション事業について

環境建設委員会

〔議案等の審査〕

- ◆「立川市景観条例」を可決すべきものと決定
- ◆「容積不適格建築物 早期建て替えに関する請願」を採択すべきものと決定
- ◆「市民のための放射能測定システム設置に関する陳情」を採択すべきものと決定

〔特定事件〕

- ◆清掃工場移転について

〔主な報告事項〕

- ◆第9次立川市交通安全計画答申(案)について
パブリックコメントを実施し、年度内に策定。
- ◆市内の空間放射線量測定等について
現時点では健康に影響を与える数値は出ていない。今後は砂場や側溝などの局所的な場所を測定していく。

文教委員会

〔議案等の審査〕

- ◆「立川市滝ノ上会館指定管理者の指定について」「立川市こんぴら橋会館指定管理者の指定について」「立川市高松会館指定管理者の指定について」「立川市若葉会館指定管理者の指定について」「立川市こぶし会館指定管理者の指定について」「立川市天王橋会館指定管理者の指定について」「立川市柴崎会館指定管理者の指定について」「立川市さかえ会館指定管理者の指定について」「立川市西砂会館指定管理者の指定について」「立川市上砂会館指定管理者の指定について」を可決すべきものと決定

〔主な報告事項〕

- ◆立川市立第一小学校建替えに係る仮設校舎建設について
平成24年2月から仮設校舎の建設を行い、夏休み期間中に引っ越しを行う。
- ◆給食用食材の放射性物質検査の継続実施について
平成24年3月まで検査を実施。食材単品ばかりでなく給食まるごとの検査も実施する。

立川まちづくり特別委員会

〔特定事件〕

- ◆旧庁舎周辺地域まちづくりについて
- ◆立川駅北口西地区再開発及び立川駅西側新自由通路について
- ◆都市軸沿道地域まちづくりについて
- ◆新庁舎周辺地域まちづくりについて
- ◆武蔵砂川駅・西武立川駅周辺地区まちづくりについて
- ◆立川基地跡地昭島地区まちづくりについて

行政視察報告

視察報告書は市役所3階市政情報コーナーで公開しています。

環境建設委員会 平成23年11月15日から11月17日

- 帯広市 環境モデル都市 おびひろについて
昭和40年代からごみの減量や環境教育の実践等を行っている
- 富良野市 地域新エネルギービジョンについて
新エネルギーの将来像を示し、計画的、総合的に導入することを目的
- 札幌市 ペットボトルシート化施設及びペットボトルフレーク化施設について
ペットボトルのフレーク化からシートの製品化まで一貫して行う



回収されたペットボトル(札幌市)

文教委員会 平成23年11月14日から11月16日

- 川西市 子どもの人権オンブズパーソン制度について
日本で最初に条例により設置された、子どもの人権擁護・救済のための公的第三者機関
- 福井県 全国学力テスト高順位の取り組みについて
福井県独自の学校教育支援を行い、学力向上教育システムを確立
- 富山市 図書館併設小学校見学
小学校に図書館を併設し、学校図書館と市立図書館を一体的に運営
- 南魚沼市 教育課程特例校(小学校に「国際科」設置)見学
市内全小学校を対象に国際科の授業を行う



国際科の授業風景(南魚沼市)

意見書



(要 旨)

請願及び陳情の採択を受けて提出された意見書の他に、次の意見書を可決し、関係機関に送付しました。

円高から中小企業を守る対策を求める意見書

国に対し、次の項目について強く求める。

1 雇用対策及び地域雇用の創出策として、「重点分野雇用創造事業基金」を積み増すこと など

災害に強い日本の構築に向けた社会資本整備を求める意見書

地震や台風などの災害から国民の安全・安心を守るために必要な社会資本の整備を推進するよう国に求めるもの

視覚障がい者からテレビを遠ざけない地上デジタルテレビ放送を求める意見書

国に対し、次の項目を速やかに実施することを強く求める。
1 携帯用ラジオに、テレビの地上デジタル放送の受信機能を付加し、従来通りテレビ放送が聴けるようにすること など

鳥獣被害防止対策の充実を求める意見書

国に対し、次の項目を速やかに実施することを強く求める。
1 地方自治体が行う被害防止施策に対する財政支援を充実すること など

社会保障制度の抜本的な制度改善を早期に求める意見書

無年金者は最大で118万人と推計されており、無年金者・低年金者に対する救済措置を早急に実施するとともに、抜本的な制度改善を求めるもの

妊産婦と胎児等に対する支援の充実に関する意見書

国に対し、次の項目を実現するよう強く求める。

1 妊産婦が、放射線の胎児や母乳への影響その他日常生活の疑問及び不安について相談し、最新の情報を基に適切なアドバイスを得られる相談体制を確立すること など

定期接種に関し、早期に国の制度確立を求める意見書

国に対し、地元自治体に負担をかけることなく、次の制度を確立するよう強く求める。

1 子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチンについては、定期接種化までの間の臨時促進事業を継続すること など

原発をストレステストの結果だけで再稼働しないことを求める意見書

福島原発事故の賠償・除染とあわせ、事故原因の徹底究明を求めるとともに、ストレステストの結果だけで原発を再稼働しないことを国に求めるもの

介護保険制度の安定的な運営のために国庫負担の引き上げを求める意見書

国に対し、次の項目の早期実現を強く求める。
1 政府は介護保険に対する国庫負担割合を引き上げること など

請願陳情

12月定例会には新たに請願3件と陳情3件が提出されました。前回からの継続審査となっていた陳情3件とあわせて、9件を慎重に審議しました。
その結果、5件を採択、1件を不採択、3件を継続審査としました。

採択されました

件 名	要 旨
障害者総合福祉法の制定を求める意見書提出に関する請願書	「障害者総合福祉法の骨格に関する総合福祉部会の提言～新法の制定を目指して～」を尊重した障害者総合福祉法を制定することなどの意見書を関係機関に提出することを求めるもの
容積不適格建築物 早期建て替えに関する請願	老朽化が進み、指定容積率を上回っている既存建築物が速やかに建て替えられるよう、現在延べ床を回復できるような、制度的対応を図ることなどを求めるもの
市民のための放射能測定システム設置に関する陳情	長期継続して食品に含まれる放射能を測定することのできる仕組みを作ることを求めるもの
第32回オリンピック競技大会及び第16回パラリンピック競技大会の東京招致に関する陳情	2020年に開催される第32回オリンピック競技大会及び第16回パラリンピック競技大会の東京招致を強く求めるよう関係機関へ意見書を提出することを求めるもの
「こころの健康を守り推進する基本法」の法制化を求める意見書採択に関する陳情	精神疾患は10年前の1.5倍に増加しており「こころの健康を守り推進する基本法」の法制化を求めるよう関係機関へ意見書を提出することを求めるもの

不採択になりました

件 名	要 旨
障害者自立支援施設建設反対に関する陳情	住宅密集地で安全確保も不確実な土地に建設されようとしている障害者自立支援施設の建設反対について、近隣住民の生活を尊重した福祉行政の検討を要望するもの

継続審査になりました

件 名	要 旨
都民のための食肉処理場を整備するまで八王子食肉処理場を存続させることに関する陳情	都民が安心して家畜を搬入できる食肉処理場（と畜場）を整備することなどの意見書を関係機関に提出することを求めるもの
災害時の緊急食糧として家畜を活用する仕組みの構築に関する陳情	都民の健康を守るため、家畜を緊急時の食糧として活用する仕組みを構築するプランを早期に実現できるよう、関係機関へ意見書を提出することを求めるもの
公的施設への市民交流喫茶室設置および増設に関する請願	いろいろな人たちが交流でき、働くことができる市民交流喫茶室の公的施設への設置・増設を推進することを求めるもの

議員派遣

議会は議会閉会中も調査・研究活動を行っています。

◆小学校を視察しました◆

1月13日に図書館等複合施設である志木市立志木小学校と、立川市立第一小学校の設計事業者が設計した千葉市立美浜打瀬小学校を視察しました。

陳情はこうなりました

平成23年第3回定例会(9月議会)において採択され、市長あて送付した陳情について、12月20日に市長から議長あてに「陳情の処理の経過並びに結果について」報告がありました。

○陳情第11号 暫定基準値の見直し及び子ども基準値の設置に関する陳情

保護者から寄せられる給食食材への不安の声を受け、給食の安全の確保と安心のために、今年8月から給食食材に対して放射性物質検査を実施し、食品衛生法の暫定基準値を目安に安全性の判断をしております。

国は、現在、暫定基準値の見直しを行っておりますが、暫定ではない基準値、とりわけ子どもに配慮した基準値を早期に設定するよう厚生労働大臣に要望書を提出いたしました。

平成24年第1回市議会定例会会議日程表(予定)

月 日	会 議 名	摘 要
2月		
23(木)	本 会 議	会期の決定、請願・陳情の付託 議案審議、予算提案説明
28(火)	本 会 議	代表質問、予算特別委員会設置付託
29(水)	予算特別委員会	
3月		
1(木)	予算特別委員会	
2(金)	予算特別委員会	
5(月)	予算特別委員会	
6(火)	予算特別委員会	
7(水)	総 務 委 員 会	
8(木)	厚生産業委員会	
9(金)	環境建設委員会	
12(月)	文 教 委 員 会	
13(火)	立川まちづくり 特 別 委 員 会	
14(水)	議 会 改 革 特 別 委 員 会	
15(木)	本 会 議	一般質問
16(金)	本 会 議	一般質問
21(水)	議会運営委員会	
22(木)	本 会 議	議案審議、委員会審査意見報告

★開始時間は各日午前10時からの予定です。

※本会議・委員会は傍聴できますので、お気軽にお越しください。

傍聴受けは会議開始15分前より行います。

※本定例会で審議する請願・陳情の締め切りは2月20日(月)午後5時です。